

おいしい
自然園

アブラハヤ

No.95

酒匂川をはじめ、町内の河川で普通に見られ、河口付近から上流域の小さな沢まで生息しています。

遠くから見ると、縦縞たてしま模様（魚は頭部を上にした姿で縞の縦横を言い分けます）に見えますが、近くで見ると小さな鱗うろこが並んでいるのがわかります。体の表面に油を塗ったような光沢をしていることからこの名がありますが、足柄平野では一般に「はや」と呼んできました。

人間の釣りの対象にはなっていないませんが、カワセミやサギ類をはじめ多くの動物たちの生命を支えており、自然界で大切な役割を担っています。



飼育下のアブラハヤ



油を塗ったような体表

一寸木 肇（おいしい自然園園長）